



各都道府県の消防隊、警察官の派遣は内閣の要請により、各都道府県知事による下令になります。

Q： ヘリコプタ - による放水投下作戦が行われ、TV で放送されていましたが、どんな効果があったのですか。

A： 目的は 3 号建屋にある「使用済み核燃料一時貯蔵プール」への冷却水循環が停止し、崩壊熱で水が蒸発してしまった、その冷却水補給としての放水投下、地上からの放水作戦です。続いて他の建屋にも放水しました。

出動命令を受けた、陸上自衛隊・第一ヘリコプタ - 団（千葉県木更津基地）ヘリ 2 機が参加予定されたが、その前に偵察として、16 日午後、

事故現場上空の放射線の測定を実施したが、放水投下予定の 90m 上空が 877mSv/h の高濃度で、乗組員の被曝が懸念されるた、その日は中止。

翌 17 日、ホバ - リングしてから狙いを定め、モニタリングの結果、1 機 40 分が計放水投下の予定を取止め、飛行を続けながら投下し、直ぐ避難する飛行ル - トを設定した。

現場上空の滞空時間は計 40 分が限度、2 機が交互に計 4 回放水投下として

午前 9 時 48 分 3 号機のプ - ルに向かって放水投下、計 4 回投下して午前 10 時終了。

